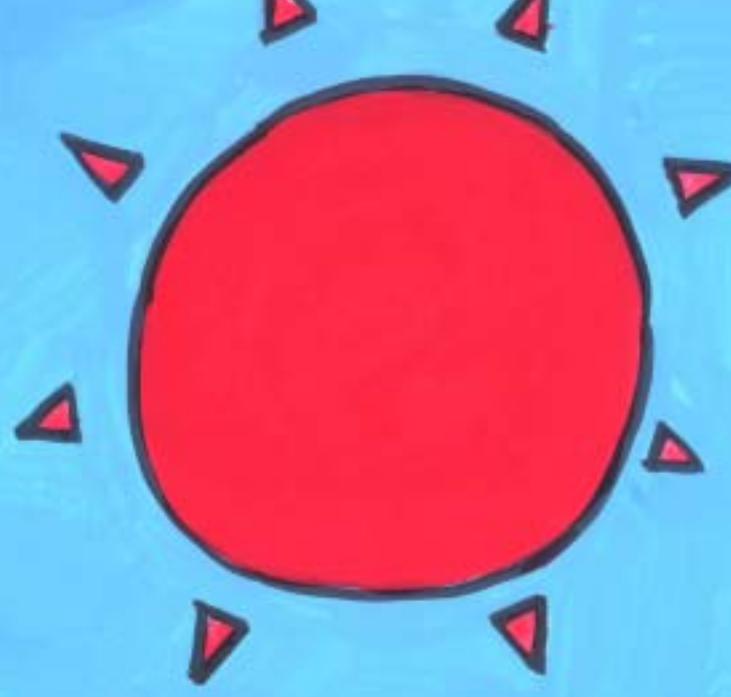


つよしさんの
ようす、く

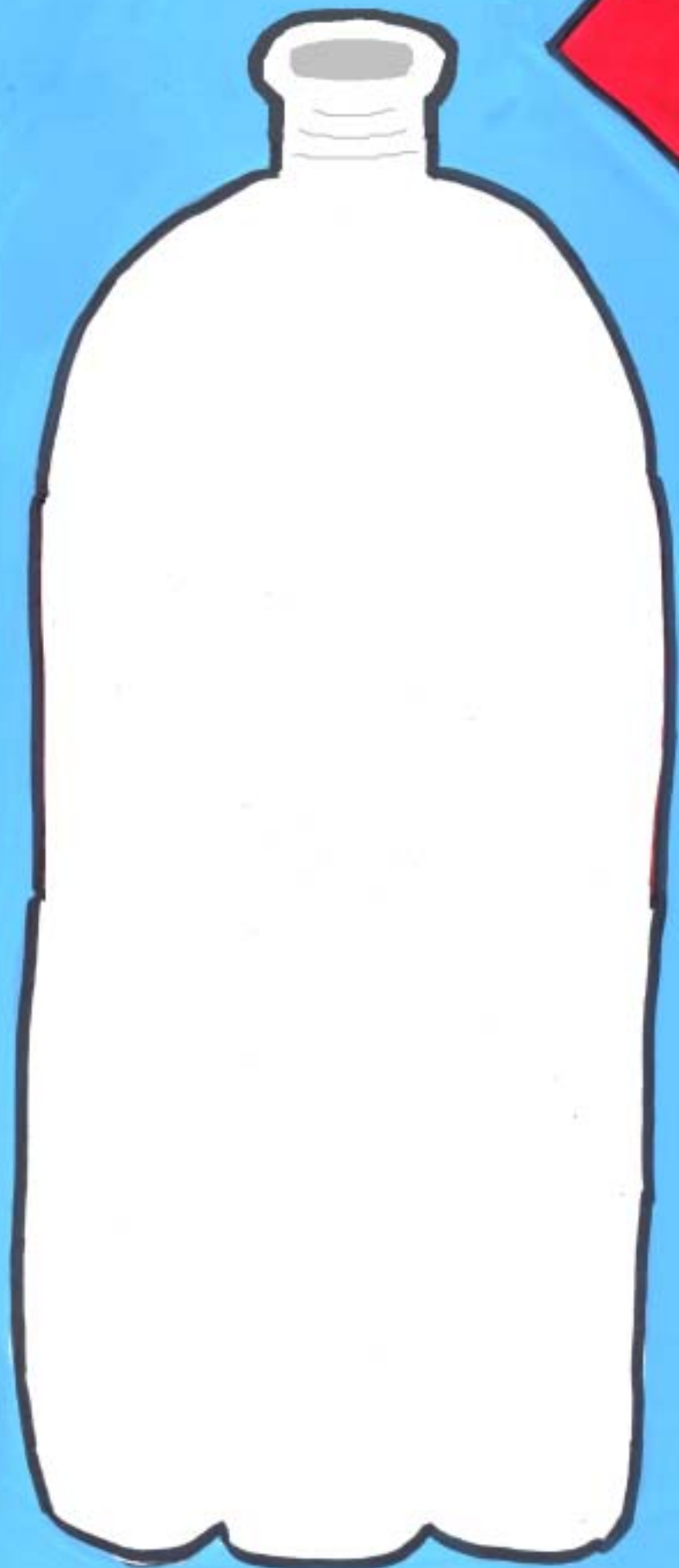


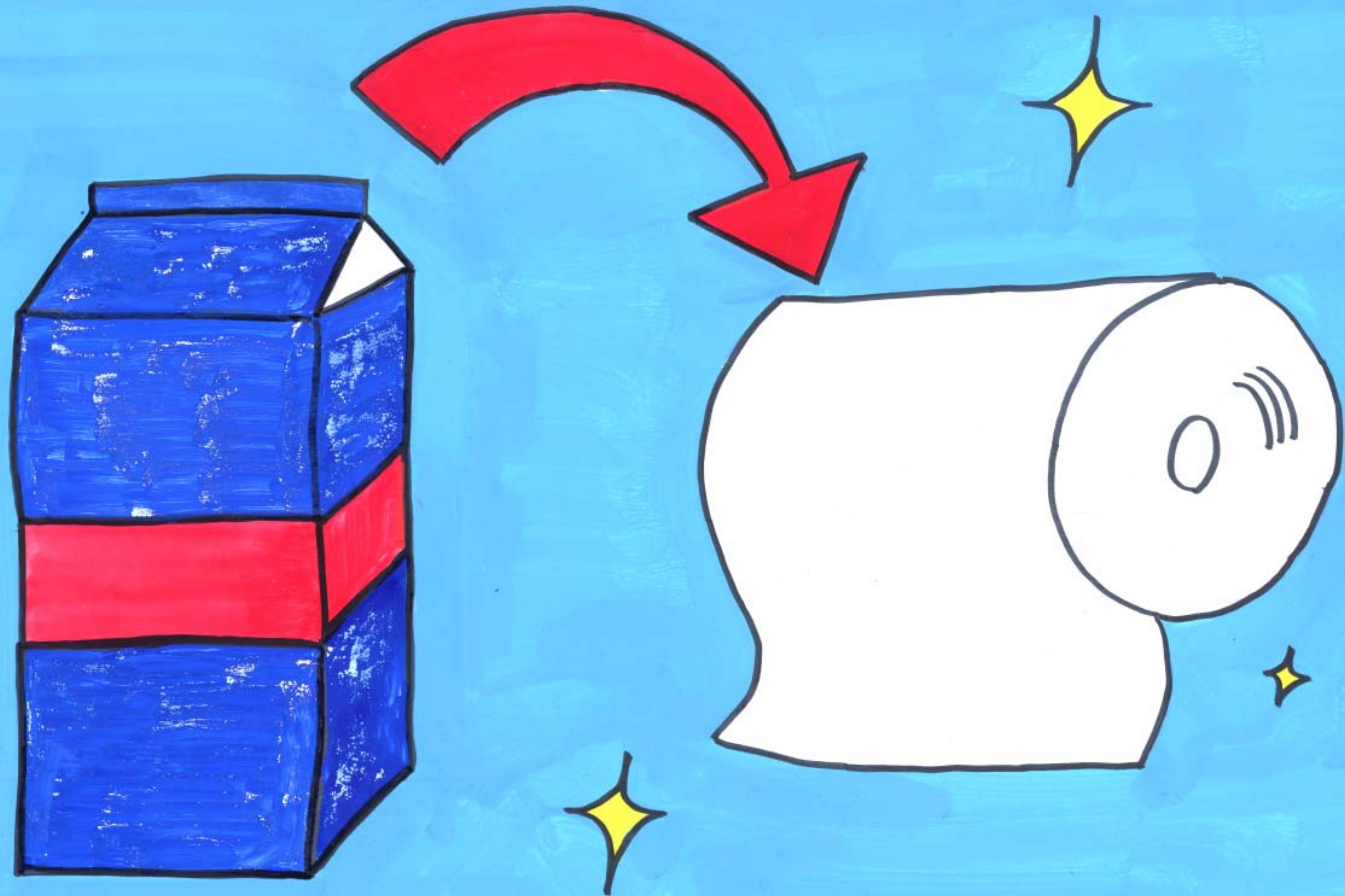


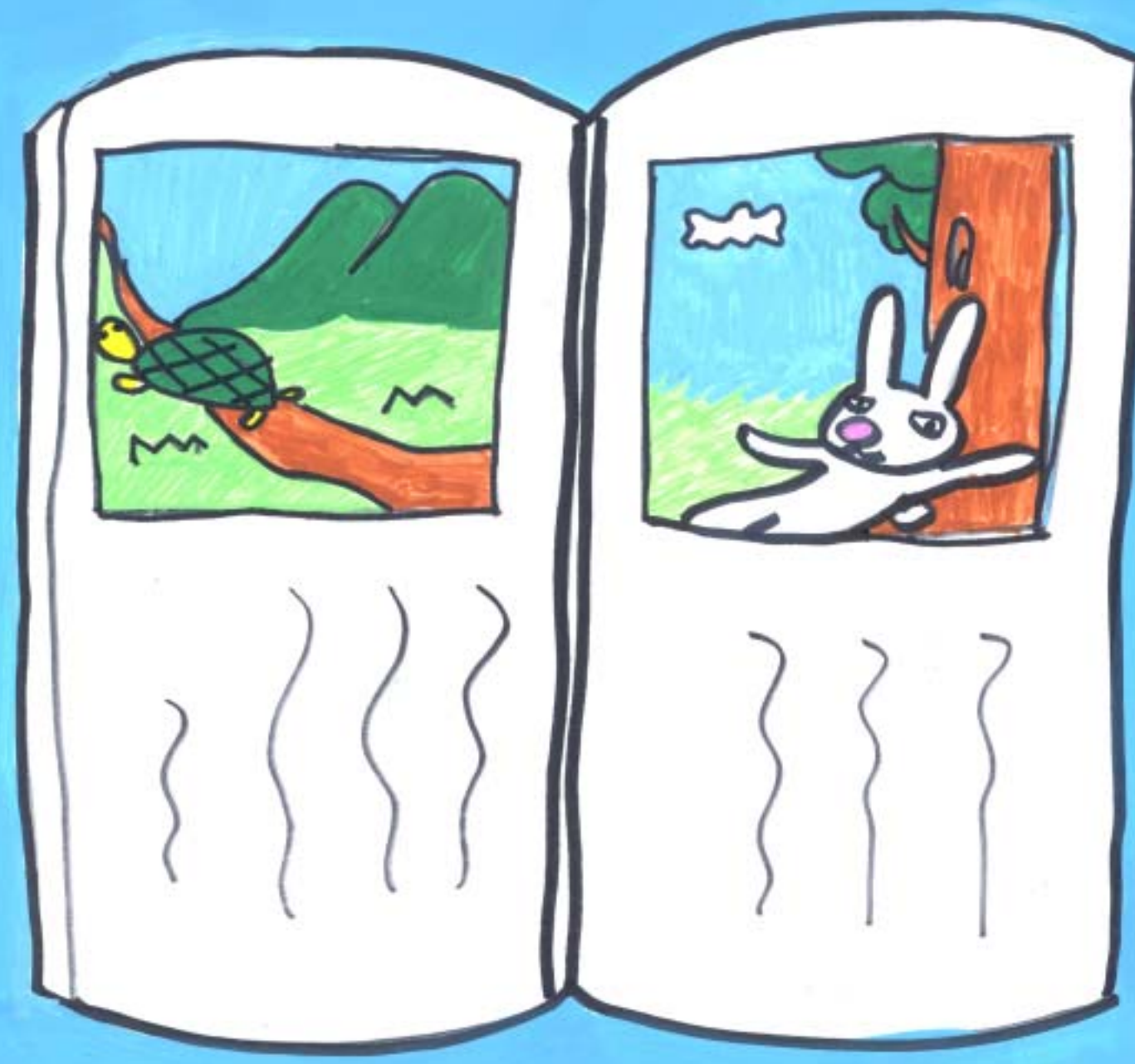
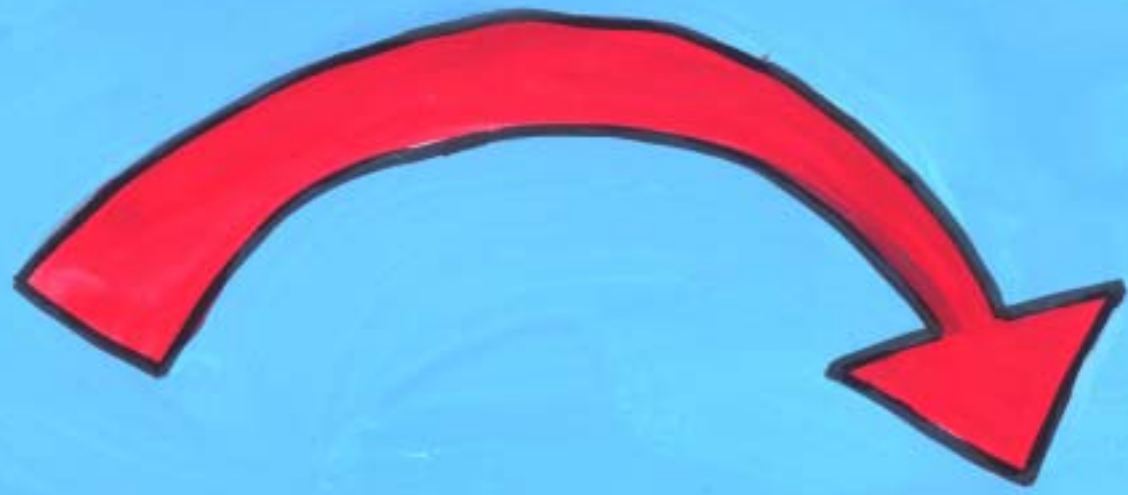
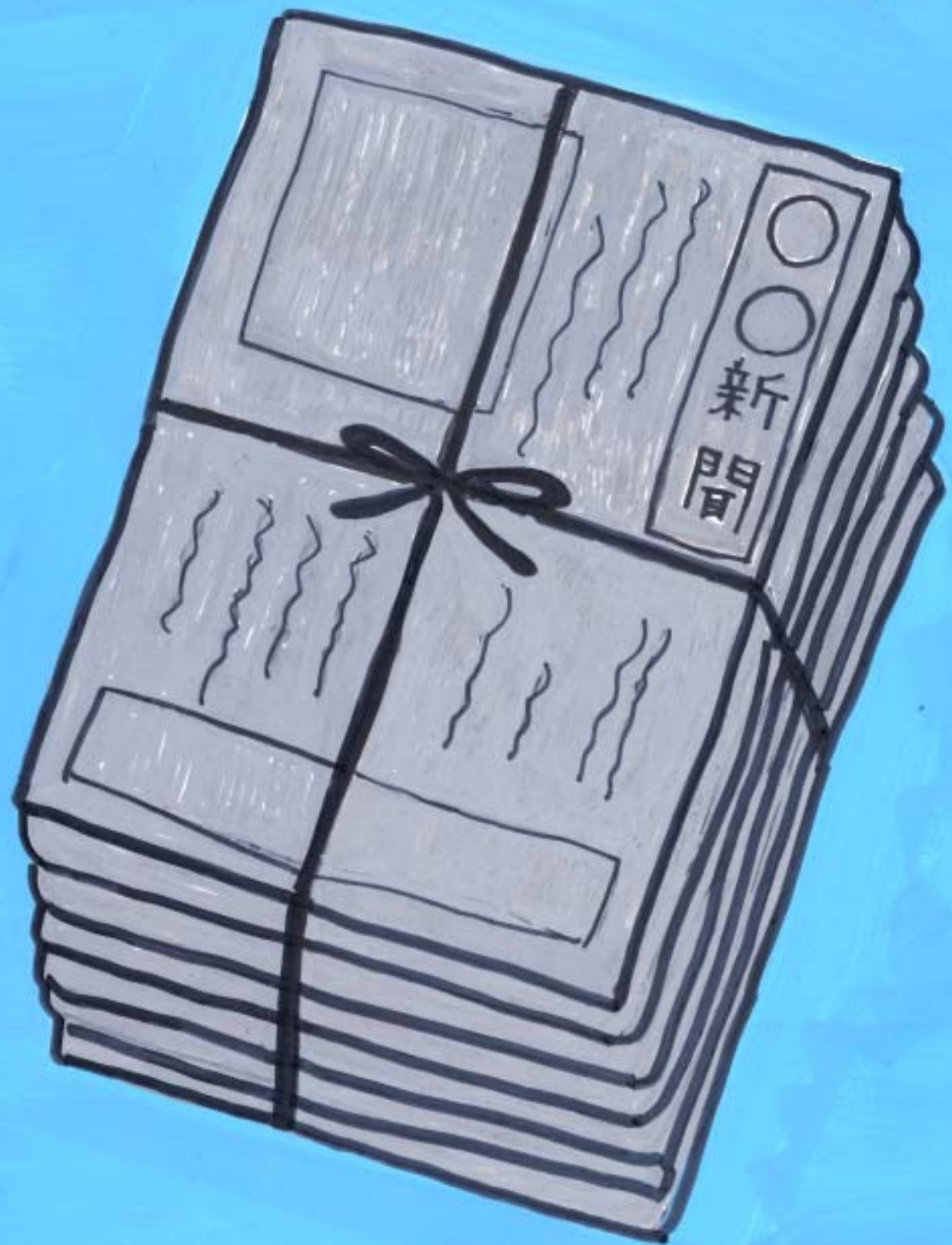
















つよしくんのよじぶく

おひさま、さんさん、**青い空。**

今日はとってもいい**天気。**

トン！カン！トントン！

トンカチの音がします。

お庭でお父さんが、

壊れたいすを直しているところです。

トン！カン！トントン！

とっても楽しそうな音。

かぜも、そよそよ吹いて、

つよしくんの洋服も、

洗濯されて気持ちよさそうに

踊っています。

お部屋へやの中なかでは、

つよしくんと

お姉ねえちゃんちゃんののままああちゃんちゃんが、

お片かたづ付け。

小ちいささくくななつつたた洋よう服ふくを

どうどうししようようかと

相そう談だんししてていいるるよよううでですす。

つよしくんは、

小さくなつて

着られなくなつた洋服を
捨ててしまうことに

したようです。

・・・なんだか

捨てられる洋服は
とつても悲しそう。

その時・・・

ぼわあん！

泣き出してしまった

洋服の所に

リーちゃんが

あらわれました。

「じよじくん、

小さくなつて

着られなくなつた洋服も

まだまだ使えるよ！

それに、いつもごみに出してる

ものだつて

違うものに

変身できるんだ！

一緒に考えてみよう。」

リーちゃんは

つづけていいました。

「例えばジュースが入ってた
ペットボトルは、

みんなが着てる服に
変身できちゃうんだ。」

「あんなに硬いのって、
服になっちゃうの？？」

つよしくんは驚きました。

「牛乳ぎゅうにゅうなどが

入はいっていた

紙かみパぱツっクくは、

きれいに洗あらって出だせば、

みんなが毎まい日にち使つかう

トイとレれツっトとペぺーーパぱーーに

なるんだよ！」

リーちゃんが

いいました。

「でも……」

あんなに黒い新聞紙は、

変身できないんじゃないの？」

するとリーちゃんは

「いえいえ！新聞紙だって、

また新聞紙になったり

雑誌にもなれちゃうんだ。」

と教えてくれました。

「そういえば、ぼくの家では、
シャンプーがなくなるよ、
詰替用を買ってきて、
同じ入れ物に入れて使っているよ。」

それを聞いた リーちゃんは
うれしそうに

「そっだねー！
それもごみを減らすことができるね。」
と いました。

やらにっよし君は
「よしー！ 小ねくになって
乗れなくなったぼくの自転車も
捨てないで、
妹にあげよう。」
と 思いついていました。

最後に

リーちゃんはいいました。

「どんな物も大切に、

繰り返し使おうね。」

どうしてもいらなくなった物は、

『新しく生まれ変わる物』と

『ごみ』とにきちんと分けて出そう！」

そうすれば、ごみが減って

きっとみんななよろこんでくれるよね！

おひさま、さんさん、青い空。

みんなの心もさわやか、さんさん。

おしまい

制作 葛飾区環境部リサイクル清掃課・清掃事務所
協力 日の出保育園